



あけましておめでとうございます

流れを変え 2000人と手をつなぐ未来を



2026年新春を祝うコミュニティユニオン東京三多摩地域本部の旗開き（2026年1月11日）

2026年のスタートに あたって

執行委員長 佐藤義見

組合員・家族のみなさん、
本年もどうぞよろしく
お願いします。



高市政権は何をめざしているのか！

民意は消費税減税や社会保障制度の見直しであって、企業・団体献金の禁止を棚上げしたり、定数削減で切られるのは国会議員に託

される国民の民意であり、あらためて議会制民主主義を問いたい。

CU 東京は労働者の権利を守り、当面1900名の組織実現めざし、学習し、運動していきます。

2026年のスタートにあたり、大会方針に基づき執行部一同、団結して運動をすすめて参ります。よろしくお願いします。





つながりを深める一年に

女性会議議長 伊東弘子

新年早々、ジェンダー平等も平和も命も人権も揺らぐような情勢に直面しています。

平和とジェンダー平等は表裏一体です。ジェンダー・バッックラッシュを許してはなりません。

今、私たちはより広く強いつながりが求められています。

ますます厳しくなる情勢の中で、仲間がどのような想いで日々働き生活しているのか、職場の問題点、疑問、などを率直に発言できる場を作っていくたいと思います。

怒りも苦しみもすべて共有し合い、つながりを深め、その場で生まれたパワーを基に進んでいきましょう。

今年もよろしくお願ひいたします。



駆け抜ける一年に

特別執行委員 千保法之

みなさま、あけましておめでとうございます。

2026年は午年、馬のように駆け抜けていきたい！ そんな1年になるよう頑張ります。

さて昨年は CU 東京にて 11 月に一泊研修(活動者会議)が行われ参加させて頂きました。そのなかで若手組合員とも交流ができ、有意義な時間を得ることが出来ました。

この流れを今後も継続していけるよう、CU 東京の青年部を立ち上げていければと思います。



ベトナムへ、DD11-2号を訪ねる旅 No.3

CU 東京品川支部書記長 佐藤盛雄

いつも、闘う労働者に寄り添う

3月5日は、グエン王宮を見た後、ドンバ市場、ファンボイチャウ記念館（日越友好を願つて闘った人の業績をたたえた館）、トウドック帝廟（36年間統治し、側室が100人いたが、子に恵まれなかった帝王の墓）などを見学し、観光船でホン川下りを楽しみ、ホテルへ着いた。夜の懇親会では、国労弁護団の岡田尚先生から横浜人活事件で無罪を勝ち取った闘いで、「無罪になる時はほんの一瞬（証拠のテープのうらに当局の謀議が録音されていた）で変わることを学んだ。証拠の積み重ねが大事」など話され、「いつも、闘っている労働者に寄り添っていたか」を、国鉄分割民営化闘争時も含め思っていたと言われた。翌6日は、フエ駅から南北鉄道で2時間半かかるダナン駅に向かった。切符はA4の大きさでした。フエ駅からダナン空港に向かいホーチミン空港（旧サイゴン）に1時間30分かかり着いた。

ベトナム初の地下鉄に乗る

3月7日の午後はホーチミン市の日本が援助して昨年12月22日に開通したベトナム初の地下鉄に乗る。作りは日本の鉄道に似ており日本より広いが、数駅で途中から地上に出てしまう。しかし、地下鉄網が発達すれば、バイク渋滞も緩和されると思う。駅を出て60数階建てのビルのサイゴン川の見える景色の良い48階ラウンジで、ベトナムコーヒーを飲むがかなり濃い感じ。ベトナムは地震がない国で高層ビルがこれから多く建つといわれている。（次号につづく）



開業して間もない地下鉄駅